

2021年9月22日

各位



グリーンローンの契約締結および「DBJ 環境格付」取得に関するお知らせ

新日本理化株式会社（代表取締役社長執行役員 三浦芳樹、以下「当社」という。）は、当社の研究施設である『京都 R&D センター』の建設資金について、資金の用途を環境改善効果のある事業（グリーンプロジェクト）に限定した「グリーンローン」により調達することを決定いたしました。本ローンは、株式会社りそな銀行、株式会社日本政策投資銀行および株式会社三菱 UFJ 銀行からなる協調融資（シンジケートローン）です。

『京都 R&D センター』は、当社の創業 100 周年記念事業の一環として、次の 100 年に向けた研究開発力・技術力の強化と、オープンイノベーション推進による新たな価値の創造を目的として建設し、2021 年 5 月に竣工しました。

当社は、2021 年 3 月に策定した中期経営計画（2021 年度～2025 年度）において、環境・社会・人(命)に関わる課題にチャレンジするというコンセプトを掲げております。

京都 R&D センターでは、このコンセプトのもと、効率的なエネルギー消費を実現しながら、バイオマスなどの天然素材・クリーンエネルギーを活用する事業の拡大、より生産効率の高い製造プロセスの開発など、事業を通じた環境負荷の低減に取り組んでまいります。

なお、本件借入時に、グリーンローン原則に準拠したフレームワークを作成し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより最上位評価となる GA1 を取得しております。

また、本件借入時に、借入先の一つである株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）より「DBJ 環境格付」^{*1}を取得しましたことを併せてお知らせいたします。

今回の格付では、以下の点が評価されました。

- ① 省エネ環境委員会での活動を通じて、全社的な環境リスク・機会の特定を行うほか製造設備のエネルギー負荷低減に向けた不断の見直しを図るなど、ISO14001 に則った着実な環境経営を展開している点
- ② 持続可能なパーム油の生産・利用に寄与すべく、RSPO への加盟及び SCCS 認証を取得し製造を行うほか、天然資源を使用した製品開発を進めるなど、顧客や社会的要請を踏まえ、製品を通じた環境・社会貢献を実現している点
- ③ 2021 年より CSR 委員会を発足し、社長自ら各拠点を巡回し従業員の意識啓発を図るなど、企業価値向上に繋がる CSR 経営の実現に向けて全社的な取り組みを開始した点

当社は今後、事業活動における環境課題の特定や、環境負荷低減に向けた中長期目標の設定などを行い、事業を通じた社会価値の向上および企業価値の向上により一層注力してまいります。

【スキーム図】



【参考資料】

- ・ [新日本理化グリーンローンフレームワーク](#)
- ・ [R&I グリーンボンドアセスメント／セカンドオピニオン](#)

※1 DBJが開発した格付システムにより企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定する世界で初めての融資メニューです。

以上

<本件に関するお問合せ先>

新日本理化株式会社 企画管理本部 経営企画部

TEL : 06-6202-0621